

あいづばんげ 議会だより

219号

令和7年10月24日発行
福島県会津坂下町議会

ばんげの「いい顔」みつけた！

透明水彩絵インボー

関連ページ…P16



目次 -CONTENTS-

決算特別委員会	2
第3回(9月)定例会	5
一般質問(8人が登壇)	8
インタビュアー	13
議会の動き	14
市民の声をきく	15
みんなのひろば・編集後記	16

決算特別委員会

決算特別委員会を開き、令和6年度の事業を審査しました。

一般会計

外国語指導助手委託料について



佐藤 宗太
議員

問

前年度より増加した要因は。

答

幼稚園に外国語指導助手派遣を追加したことと、中学校への派遣時間が増加したため、前年度と比較すると増額になっております。

教育
課長

自動体外式除細動器（AED）について



水野 孝一
議員

問

台数と、設置場所は。
また、いざという時、使えるように訓練はされているのか。

答

各コミュニティセンターに1台ずつ設置しております。
地域づくりコーディネーターにつきましては、定期的に使用訓練・救急救命の講習なども積極的に受けさせております。

政策
財務
課長

狩猟免許取得の実績について



五十嵐 正康
議員

問

昨年の実績は。
また、現場からは人手不足の声が上がっているときくが、今後の人材確保の見通しはあるのか。

答

更新8名、新規1名合わせて9名となっております。
人材確保につきましては、現場に急行していただける鳥獣被害対策実施隊の方が限られており、高齢化が進んでいるのは事実です。
今後は若い方にも技術などをうまく繋いでいけるような取り組みを研究していかなければならないと考えております。

産業
課長

介護保険サービスの持続的な維持について



高久 敏明
議員

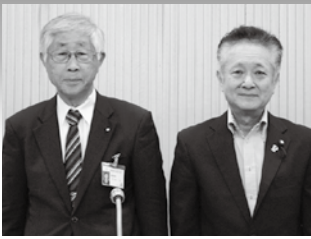
問

8月31日の新聞で町は危機感があると回答している。
今後負担が増えてくるのが危惧されるが、回答の内容について教えてほしい。

答

利用件数の増加などにより施設に空きがなく、近隣や県外の施設も含めて対応をとっている現状にあり、施設の確保・人材の確保・高齢化などにより安定したサービスが受けられないという懸念があることから、そのように回答しました。

生活
課長



五十嵐一夫委員長
目黒克博副委員長

坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計 区画整理事業について



五十嵐 一夫
議員

問

1回で道路工事を完了
させることができないのか。

答

用地が確保された区間から順次
着手し、整備をはかるような方向
に転換したので、今後も変わらぬ方
針で取り組んでいきたいと考えてお
ります。

建設
課長

討論 ～一般会計決算～

賛成

歳入においては、自主財源である町税収入は、定額減
税の影響により前年度より減少しているものの、徴収率
は高い水準を維持している。

歳出においては、地区要望に対応した道路補修工事等の実施や、空
き家除却・改修等に対する補助金の新設、物価高騰対応重点支援地方
創生臨時交付金を活用し、未給水地区世帯への給付金の支給、2月の
大雪についても、迅速に臨時議会で予算措置し、除雪・排雪を行うな
ど、必要な事業を選択され、的確に執行されたと考える。

物価高騰による影響は多岐に及び、財政運営にはより創意工夫が求
められる。

物江政博 議員

『決算審査意見書より
(一部要約)』
厳しい人口減少、高齢化が進む中、財政の
健全化に向けて、まずは収支の黒字確保のた
め収支均衡を第一とし、財政調整基金を確
保・増加させ、更なる将来の財政負担軽減に
努める必要がある。



監査委員より意見書提出
7月14日～29日、令和6年度各会計につい
て、監査委員による決算審査が行われまし
た。8月26日には町長に意見書が提出されま
した。

92億円は どう使われた？

第3回定例会は、9月4日から9月18日までの15日間の会期で開催しました。令和6年度の決算審議では、特別会計を含む7つの決算を認定しました。

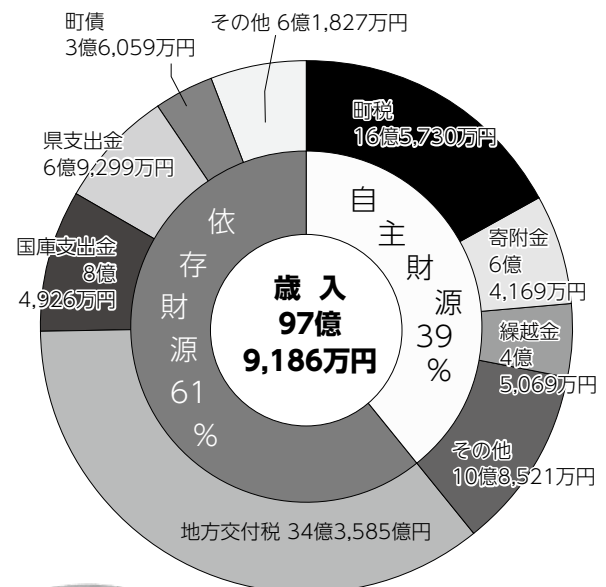
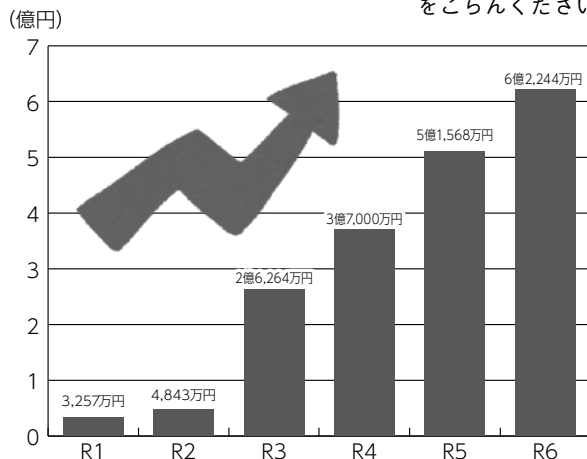
このうち一般会計は、新型コロナウイルス感染症関連の臨時交付金などの予算措置が減額された一方、地方交付税の増加やふるさと納税の増加などから、歳入、歳出とも前年度より増加しました。

ポイント

ふるさと納税は 6億円超に



詳しい使い道は町HP
をごらんください。



ポイント

5,793万8,335円

市町村生活バス路線運行

- 生活交通路線維持対策（若松線、喜多方線・柳津線）
- 市町村バス路線維持対策（袋原線 他5線）

3,309万7,000円

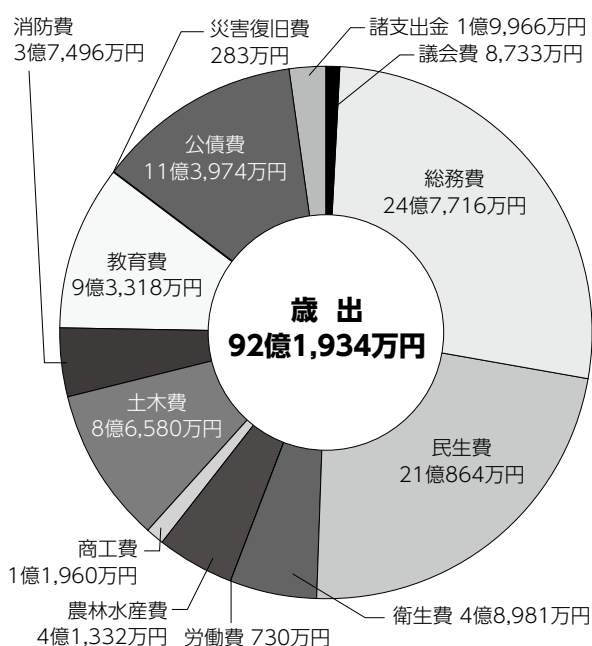
産地パワーアップ事業補助金

- 農業機械導入（3台分）

1,128万9,000円

空き家改修等支援事業

- 申請7件



第3回定例会

決算認定7件の他、人事案件1件、条例4件、その他3件、補正予算7件が提出され、同意・認定・可決されました。

《人事案件》

	氏 名	任 期	結 果
教育委員会委員	古川敏典さん	令和7年10月1日～ 令和11年9月30日	任命に同意

《補正予算》

会 計		補正額	補正後の額	主な補正内容
一般会計（第4号）		3億7,993万8,000円増	95億1,821万5,000円	ばんげ保育所シロアリ発生被害調査・駆除および被害部分の復旧工事によるもの等
一般会計（第5号）		608万3,000円増	95億2,429万8,000円	坂下南小学校パソコン教室の空調設備故障に伴う改修工事によるもの等
特別会計	国民健康保険（第2号）	883万3,000円減	19億1,241万9,000円	各保険税(料)の本算定によるもの等
	介護保険（第2号）	2,007万7,000円増	24億3,880万3,000円	
	後期高齢者医療（第2号）	1,729万9,000円増	2億5,256万1,000円	
水道事業会計（第2号） 収益的支出		236万9,000円増	4億8,131万1,000円	修繕工事に伴う舗装本復旧工事によるもの等
下水道事業会計（第2号）	収益的収入	17万8,000円増	4億2,488万2,000円	県道会津坂下河東線マンホール蓋修繕工事によるもの等
	収益的支出	84万5,000円増	3億9,931万5,000円	
	資本的支出	22万円増	6億3,676万1,000円	



令和7年第2回定例会において五十嵐一夫議員より提出された「小畑監査委員辞職勧告決議」は、法的根拠のない勝手な解釈のもとでの提案であり、町民に誤解や疑念を持たれるような結果のみが残った。さらに「議会基本条例」に抵触し、いたずらに不安を煽った悪意に満ちた発議であるとして、小畑博司議員は、五十嵐一夫議員とその議案の賛成者である酒井育子議員に対し、今後このような事態が繰り返されることのないよう深く反省し、町民等に責任を明らかにすることを求めるため、問責決議を提出しました。

五十嵐一夫議員・酒井育子議員に対する
問責決議が提出される

《採択結果》

五十嵐一夫議員に対する問責決議

無記名投票により、

賛成 8 票 反対 4 票

となり、賛成多数で可決されました。

酒井育子議員に対する問責決議

無記名投票により、

賛成 8 票 反対 4 票

となり、賛成多数で可決されました。

私はこう判断！

賛否の分かれた議案

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	高久 敏明	五十嵐 孝子	目黒 克博	物江 政博	横山 智代	小畑 博司	佐藤 宗太	五十嵐 正康	青木 美貴子	五十嵐 一夫	水野 孝一	酒井 育子	山口 享	赤城 大地
発議4号 五十嵐一夫議員に対する問責決議	無記名投票により 賛成8・反対4									退				
発議5号 酒井育子議員に対する問責決議	無記名投票により 賛成8・反対4										退			
請願第6号 地方財政の充実・強化を求める意見書 提出請願書	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	
請願第11号 国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書 のすみやかな批准を求める意見書」 提出についての請願	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	
請願第12号 米の安定供給等を求める意見書の提出 について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発委第9号 女性差別撤廃条約選択議定書のすみや かな批准を求める意見書の提出につい て	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	
発委第10号 米の安定供給等を求める意見書の提出 について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長

上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 退：退席 議長は採決に加わりません。



発議第5号 酒井育子議員に対する問責決議



第2回定例会で小畑議員への監査委員辞職勧告決議案は否決された。つまり議会からは信任されたのだ。

すでに決着済のことに対し、今回の問責決議案提出は報復である。議会や町の運営に対しての議論をするのはいいが、このようなしっぺ返し提案は許されないことだ。報復的決議案が賛成されるならば、坂下町の議員の資質、議会の品格が問われる。決議案が否決されたならば提案者は議員を辞職すべきである。

五十嵐 一夫 議員

第3回定例会

請願の結果

	件 名	請 願 者	紹介議員	結 果
第 6 号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書	日本労働組合総連合会福島県連合会両沼地区連合会 議長 檜山 洋明	小畑博司	不採択
第 11 号	国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願	新日本婦人の会会津坂下班 代表 保知 栄子		採択
第 12 号	米の安定供給等を求める意見書の提出について	会津農民運動連合会 会長 菅沼 弘志		採択



請願第6号 地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書



賛成

今回の請願事項は11項目と多岐にわたるが、全ては地方財政の充実・強化を求める内容である。

文言に気になる箇所がないわけではないが、当議会が賛同しないことにより、地方財政の充実・強化を求めているかのような誤った捉え方をされることを懸念することから、この請願に賛成する。

佐藤宗太 議員

請願第11号 国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願

反対

国は現在、選択議定書で規定されている個人通報制度について条約の実施の効果的な担保を図るとの趣旨から注目すべき制度と考え、政府として対応を検討中である。

個人通報制度の受け入れにあたっては我が国の司法制度や立法政策との関係での問題の有無や、同制度を受け入れる場合の実施体制について慎重に検討する必要がある、町議会として意見書を提出する必要はない。

高久敏明 議員

賛成

条約で保証されている日本の「女性の権利、ジェンダー平等」を国際基準に引き上げ、差別で苦しむ多くの女性たちのため、すみやかに選択議定書を批准することを求める。

横山智代 議員

請願第12号 米の安定供給等を求める意見書の提出について

賛成

今回の「米不足」等は政府の農業政策の失敗によるものである。農家が安心して米を作り続け、消費者が安定して日本の米を食べ続けられる政策が必要だ。

横山智代 議員